

科目名	文学概論Ⅱ		英文表記	Introduction to Japanese literature Ⅱ		平成27年2月10日			
科目コード	5010								
教員名: 網谷 厚子 技術職員名:						作成			
対象学科/専攻コース			学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間	
全学科			5年	必	学修	2単位	講義	後期	
科目目標	1 日本の古典作品から現代までの作品に触れ、「世界」の中での固有性について認識を深める。 2 日本語で新しいものを生み出す力を身につける。 3 他者を動かす言葉の力を身につける。								
総合評価	1 日本文学についての定期試験による評価(50%) 2 課題提出(レポート等)を総合して評価(50%)								
科目目標達成度とJABEE目標との対応	目標割合	科目達成度目標(対応するJABEE教育目標)	達成度目標の評価方法	ルーブリック					
				理想的な到達レベル(優)	標準的な到達レベル(良)	最低限必要な到達レベル(可)	セルフチェック		
	50%	① 日本の古典作品から現代までの作品に触れ、「世界」の中での固有性について認識を深める。(以下同じ、機械A-1・情報C-3、メディアC-4、生物B-1、C-2)	定期試験の成績による評価	日本文学の固有性について認識を深め、日本文学作品についての深い理解・興味・関心を持つことができる。	日本文学の固有性について、概ね理解することができる。	日本文学の固有性について、一部理解することができる。			
	40%	② 日本語で新しいものを生み出す力を身につける	レポートの内容・提出率による評価	自らの考えを十分調査・研究した内容を踏まえ説得力をもっと表現することができる。	調査・研究した内容を踏まえ、自らの考えを表現することができる。	調査・研究した内容を、課題に応じて表現することができる。			
	10%	③ 他者を動かす言葉の力を身に付ける	作品の創作による評価	俳句等文学作品を独創的に創作することができる。	文学作品を自らの感受性に基づいて表現することができる。	文学作品の形式に従い作品を創作することができる。			
本科・専攻科教育目標	1	2	3	4	JABEEプログラム名称	機械システム工学	情報通信システム工学	メディア情報工学	生物資源工学
	○	○		◎	JABEEプログラム教育目標	A-1	C-3	C-4	B-1, C-2
評価方法と評価項目および関連目標に対する評価割合									
		目標との関連	定期試験	小テスト	レポート	その他(演習課題・発表・実技・成果物等)	総合評価	セルフチェック	
評価項目			50		40		100		
基礎的理解		①	50				50		
応用力(実践・専門・融合)		②③			30		30		
社会性(プレゼン・コミュニケーション・PBL)		③				10	10		
主体的・継続的学修意欲		②③			10		10		
授業概要、方針、履修上の注意	1 日本文化の一つである有名な古典作品や、現代の詩・短歌・俳句について素養を深めさせ、独創的な表現へと導いていく。 2 日本語の特徴を理解し、効果的な口頭による表現を、歯切れの良い「滑舌」を身につかせる。 3 以上の内容が主体的・創造的となるように工夫する。								
教科書・教材	『日本語の詩学』(網谷厚子著)・『詩的言語論』(網谷厚子著)その他自主編成教材。								

授 業 計 画					
週	授 業 項 目	時間	授 業 内 容	自学自習 (予習・復習)内容	セルフ チェッ ク
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
期末	期末試験				
16	日本の古典文学作品の特徴	2	日本の古典作品の特徴について学ぶ。		
17	上代の文学作品Ⅰ	2	上代の文学作品の有名な作品を理解・鑑賞する。		
18	上代の文学作品Ⅱ	2	同上		
19	中古の文学作品Ⅰ	2	中古の有名な作品を理解・鑑賞する。		
20	中古の文学作品Ⅱ	2	同上		
21	中古の文学作品Ⅲ	2	同上		
22	中古の文学作品Ⅳ	2	同上		
23	中世の文学作品Ⅰ	2	中世の有名な作品を理解・鑑賞する。		
24	中世の文学作品Ⅱ	2	同上		
25	近世の文学作品Ⅰ	2	近世の有名な作品を理解・鑑賞する。		
26	近世の文学作品Ⅱ	2	同上		
27	近代の文学作品Ⅰ	2	近代の有名な作品を理解・鑑賞する。		
28	近代の文学作品Ⅱ	2	同上		
29	現代の文学作品	2	現代の有名な作品を理解・鑑賞する。		
30	「後輩に贈る言葉」の作成	2	「(まだ見ぬ)後輩に贈る言葉」を書く。		
期末	期末試験	[2]	上記の内容の習熟度を確認する。		
学習時間合計		30	実時間	22.5	
自学自習(予習・復習)内容(学修単位における自学自習時間の保証)				標準的所用時間(試行)	
①	授業の予習・復習			各2時間×15回	
②	授業中に指示した課題			各2時間×15回	
<b>備考欄</b>					
(共通記述) ・ この科目はJABEE対応科目である。 その他必要事項は各コースで決める。 (各科目個別記述) この科目は全学科共通科目である。					

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。(45分=1、90分=2)